

日 刊  
**ア新東京**

NO 80

2009年  
1月1日(木)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

# 新年を迎えて 今年もよろしくお願ひします

組合員の皆さん、パートナ  
社員（ゆうメイト）の皆さん明  
けましておめでとうございます。

二〇〇九年の始まりにあたり、  
支部執行委員会を代表して新年  
のあいさつを申し上げますと思  
います。

日常的な組合活動に対し、ご  
理解とご協力を感謝を申し上げ  
ます。また、ゆうパック・年賀

・各種大口、年末取り扱い等、  
各課での年末繁忙お疲れ様です。  
年明けすぐには、特殊課の入試  
郵便物で忙しくなります。

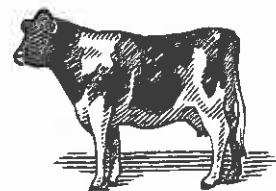
私達日本郵政グループ労働組  
合新東京支部は、昨年（八月二  
九日）に支部統合を果たし労組と  
して新たなスタートを切りまし  
た。支部統合以降、組合員皆様  
のご理解とご協力を感謝申し上

げます。

支部統合のス  
タンスは、「対  
等」「互譲」を  
基本に、「友愛  
・創造・貢献」  
をシンボルフレ

ーズとして旧JPUと旧全郵政  
との両組合の歴史的統一をはた  
しました。「融和」「融合」を胸  
に刻み込み新支部運動をしっか  
り足元を固めながら活動を進め  
ているところです。

東京では、昨年（の）地方大会で  
①雇用を守る。②成果の配分。  
労働条件の維持・改善。③働き  
がい・生きがい。人事給与制度、  
職場環境整備。④組合員サポー  
ト。組合のスケールメリットを  
利用した組織運営。この4つの  
活動方針を決め、取り組んでい



ます。

組合組織化に関しては、JP労組は、全国で社員の九〇%、パートナー社員(ゆうメイト)の二四%を組織しています。

新東京支部では、社員の八割以上、パートナー社員の皆様にも三〇〇人をこえる仲間の加入を勝ち取ってきました。

ひとりでは、小さな力ですが、働くものが団結し力を合わせれば、労働条件や処遇の改善を訴え実現させることができます。

組織拡大は、労働条件改善、処遇改善の第一歩です。

引き続き、本部提起の三〇万人組織達成と東京地本三万人組織化達成に向けてこの一年精一杯ガンバル決意です。

統括支店である新東京支店の任務の達成と組合員の処遇に大

きな影響を与える「JPEクスプレス」への対応にも地本・本部と連携し万全を期したいと思っています。

課題に対して、ていねいな周知やオルグをおこなっていき、組合員の意識と認識の統一を図ってまいりたいと思っています。

また、組合員の雇用不安払拭にむけて全力で取り組んでいきます。

混乱する現政権に早期退陣してもらい、政権交代をぜひとも成し遂げましょう。「決断の時」は、もうすぐです。

あらためて組合員の皆様のご協力を要請し、本年のあいさつにかえたいと思います。

よろしく願います。

新東京支部 支部長 下山 薫

## 「新春ボウリング大会」

### 2009年1月25日

お台場パレットタウン4階「東京レジャーランド」

受付11時半から 12時ボウリングスタート!!

会費は大人1000円・子供500円

ボウリング後に軽食を食べながら表彰式あり。

みんなで参加しよう(^\_^)v

日 刊 P 新東京	No. 8 /	2009年1月5日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

# 2008年度（平成20年度）の 経営効率化勸奨退職 （高齢勸奨）の実施について

日本郵政グループ各社及び日本郵政共済組合から2008年度（平成20年度）末に経営効率化勸奨退職(高齢勸奨)を実施したい旨の説明がありました。(ゆうちょ銀行は2009年度6月末)

(1)実施日は、日本郵政・郵便事業・郵便局会社・かんぽ生命・日本郵政共済組合については、2009年（平成21年）3月31日。  
ゆうちょ銀行については、2009年（平成21年）6月30日となっています。

(2)周知・勸奨期間は、各社多少前後しますが、郵便事業では2009年（平成21年）1月5日（月）～1月23日（金）までの19日間です。

### (3)選考対象者と優遇措置

対象者は、退職日の年齢が満50歳以上の社員となります。また、退職に伴う優遇措置については、従前同様、各社の退職手当規程に定める勸奨退職の場合の手当支給率を適用し、別紙の調整額を適用します。

なお、郵便事業会社・郵便局会社の2社については、昨年同様、「業務運行に支障が生じる恐れがある場合には、年齢により選考する」と応募者多数の場合には、年齢制限を行うことについて言及してきています(昨年は、最終的に全員実施をしました)。

J P労組本部は「勸奨退職制度は、組合員がライフプランを描く上でも重要な制度であることから出来る限り社員の意思を尊重した対応を行うよう」各社に申し入れたところです。

また、ゆうちょ銀行のみ実施時期が異なる点については、(裏面へ)

①定年退職者との一斉退職を避ける、②新規採用者の研修期間中の労働力確保につながる、等から理解するところであり、関係社員に対して「モチベーションが維持されるよう、主旨について、丁寧な説明を行うよう」申し入れ、本件について了承しました。

なお、来年度以降の勧奨退職については、制度の存続を基本とした上で、実施時期を含め、労働力確保等の議論と合わせて、各社対応を図っていくこととします。

#### <参考：失業等給付関係>

今回、退職される社員が、退職後にハローワークで求職の申し込みを行い、「失業の状態（本人やハローワークの努力によっても職業に就くことができない状態）」と認定された場合は、雇用保険の失業等給付の受給要件（離職の日以前2年間に賃金支払いの基礎日数が11日以上ある雇用保険に加入していた月が通算12か月以上あること）を備えているため、基本手当が支給されることとなります。

この基本手当は、離職（退職）理由によって給付日数が異なります（倒産・解雇等の場合は、一般退職に比べ手厚い給付日数となる）が、昨年度、郵政グループで実施した勧奨退職の場合は、従来から恒常的に設けられている「早期退職優遇制度」等に該当していたことから、今年度の勧奨退職についても「一般退職（倒産・解雇等以外）」と同様の扱いになると想定されます。

ただし、離職（退職）理由については、事業主の証明と離職者（退職者）本人の同意を基に、最終的にはハローワークで認定されるため、この限りでない場合もあります。

民営化以降の高齢者再雇用制度が、変わっていますのでご注意ください。

詳しい資料等は組合事務室に来ていますので、お近くの支部役員・分会役員に一声を…。

あけましておめでとうございます。

各分会の取り組み、職場の小さな出来事・疑問、書評、難しい話…なんでもかまいませんので、投稿記事を募集しています。

今年も組合員のための機関誌づくりに全力で頑張っていきます。よろしくおねがいします。 (広報部)

日 刊  
**ア**  
**新東京**

No. 83

2009年  
1月 7日 (水)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4 3 5 3

投 稿

## 「ハガキ」の定義とは？



改めて、ご挨拶いたします。  
私、というペンネームで投稿  
をしている一組合員でござい  
ます。旧JPUの日刊紙では  
マニアな投稿や書評をさせて  
もらいましたが、新組合でも  
投稿させてもらう事になりま  
した。拙い文ですが、どうか  
よろしく願います。

この日刊が発行される頃に  
は、年賀ハガキの特殊取り扱  
いも終了し、業務も落ち着い  
た頃だろうと思います。年賀  
室に関係した社員・パートナ  
ー社員の皆さん、お疲れ様で  
した。

今回の投稿は、ハガキはハ  
ガキでも、似て非なる？ハガ  
キの話です。

そのハガキを知るきっかけ  
となったのは個人的な欲で、  
某お菓子メーカー社のエコバ  
ックが欲しくて応募しようと  
したのですが、近所の店頭に  
私製応募ハガキが無く、自分  
で全て書くのも面倒なので、  
ウェブサイトからダウンロード  
しようとした時です。PD  
Fファイルでダウンロードと  
いうので、郵便事業会社製郵  
便ハガキ(以下自社製ハガキ)  
を手に画面をみると、ファイ  
ルのサイズがA4となってい  
ました。「何でA4？」と思っ  
ていると、現れたファイルは、  
A4の用紙の中央に応募事項  
と宛先があつて、応募事項を

記入し、応募券を貼った後、周囲を切り取り、中央で二つ折りにして隙間の無いように貼り付けると、自社製ハガキより一回り小さいものの、応募ハガキの完成！後は50円切手を貼って郵送して下さい、という応募ハガキでした。その時は思わず、啞然としてしまいました。一応印刷はしたのですが、使用するのに気が引けて、結局使いませんでした。

その後、仕事をしながら「あの応募ハガキは、圧着ハガキの応用で作成したんだな」と気づきました。で、郵便取扱規程を見ると「ハガキに密着

していれば可」というような事が書かれていたので、郵便法上は、かなりギリギリですがセーフといったところでしようか（お客様の貼り方次第ではアウトになるケースではあります）。

ですが、このようなハガキが出回ると、お客様の解釈によつて第二種郵便（郵便ハガキ）か第一種郵便なのか、あやふやになりかねないかが心配です。本社や国で、そろそろ第二種郵便の定義をかなり厳密に定めた方がいいのではないかと、今回の懸賞ハガキを見て思いました。

## 新春支部ボウリング大会参加者募集中!!

日時 1月25日(日) 11:30 受付開始

場所 東京レジャーランドパレットタウン店

4Fボウリング場

参加費 大人 1000円 子供 500円

たくさんの参加をお待ちしています。

日 刊 新東京	No. 84	2009年1月8日(木)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

## ポストライフの

# 交通災害共済のお知らせ

割安な掛金で、万一の交通事故に備えることができます。

駅構内等の改札口の内側の事故や道路通行中の物の落下による不慮の事故など、幅広く保障します（詳しくはパンフレット参照のこと）

年齢、健康状態を問わず、簡単な手続きでご加入いただけます。

※既にご加入いただいている組合員の皆さんには、満期継続のご案内兼変更申込書送付依頼書（圧着はがき）が配布されますので、変更（解約含む）を希望する組合員の方は1月26日（月）までにポストライフサービスセンターへ返送はがきを必ず送付して下さい。

※新規に加入を希望されている組合員の方は支部に申し込み用紙が用意してありますので、支部・分会役員まで申しつけ下さい。

申し込み締め切りは、2月13日（金）までに支部に提出して下さい。

## ポストライフの

# 医療共済のお知らせ

医療共済マイガードは、入院・手術・がんの保障を3つの型から選んでいただける共済です。割安な掛金で組合員の皆さんの希望に沿った補償の型を選べます。この機会にぜひ加入をお勧めします。詳しくはパンフレットを参照頂き、支部・分会役員までお申し付け下さい。

※既にご加入いただいている組合員の皆さんには、申込書が郵送されますので、変更等があれば記入して返送して下さい。無い場合は返送していただくなくて結構です。下さい。

申し込み締め切りは2月10日（月）までに返送して下さい。

※未加入の方は申し込み用紙が支部に用意されてますので、支部・分会役員まで申しつけ下さい。

※それぞれ締め切りが違いますので、間違えないようにして下さい。

# 大型生命共済きずな 既加入の皆様へ

## 継続した!?

手続きをしないと、

# 「きずな」が解約 になります!

◆手続きをしてない方は必ず支部・分会の役員まで◆

- ① 新組織結成により「きずな」の継続加入をする場合は、既加入者からも改めて申込印が必要となります。
- ② 配当金については、2009年度から個人送金になりますので、送金先口座のお届けが必要となります。

1月末日までに手続きをして下さい。

## 新春支部ボウリング大会参加者募集中!!

日 時 1月25日(日) 11:30 受付開始

場 所 東京レジャーランドパレットタウン店

4F ボウリング場

参加費 大人 1000円 子供 500円

たくさんの参加をお待ちしています。



## 【猫舌】のむひもい「ラム

## 「小銭には気をつけよう」

日刊No.83で、操作ミスにより肝心のペンネームを打ち忘れていました。申し訳ありません。改めて【猫舌】です。よろしくお願いします。

過日、筆者の近所の、とあるスーパーで夕飯の買い物をしたときの話です。

レジで会計金額を言われ、その時は小銭が多すぎて財布がはち切れそうだったので、1円単位まで出して会計してもらおうと思ったたら、レジ係に「お客さん、この1円玉違いますよ」と言われてしまいました。そのスーパーはまだ

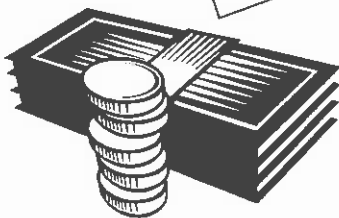
自動釣銭機が導入されていないところで、改めて見ると、1枚だけ光沢が違います。それは中華人民共和国の1角玉でした(註:角(JIAO)は日本では銭に当たる単位で、10角=1元(YUEN)です)。

買い物の前に中国へ旅行に行った時のカバンを整理したので、そのせいで紛れ込んだ1角硬貨だと思って謝ろうとすると、レジ係が「最近、よく1円玉の中に紛れてくるんですよ。お釣りもらう時は気をつけてくださいね」と忠告してくれまして、そのレジ係

の親切に、ただ感謝感謝でした。

日本には、現在、多くの多国籍人が働くために来日しています。今回のようなケースは、その功罪で考えるところの部分に当たる現象なのでしょう。皆さんも、特に普段お釣りを確認しないで財布に入れている方、日本円と違う輝きの小銭を見たら注意しましょうね。

中国は、以前はお札が中心でしたが、経済発展に伴い硬貨も発行するようになったんですよ



各支部からの年賀状です！

加六

昨年、8月5日に旧全郵政支部、旧JPU支部が組織統合し、日本郵政グループ労働組合(略称JP労組)東京千代田支部を結成しました。  
2009年が希望の持てる年となるよう、JPグループが成長・発展し、職場で働く皆さんの幸せを追求していくため、精一杯活動を進めてまいります。  
今後ともご指導の程、よろしく願いたします。

2009年 元旦  
〒101-8799 東京都千代田区神田淡路町2-12  
日本郵便神田支店6F JP労組東京千代田支部

- 支部長 石井 雅樹 (神田支店)  
副支部長 小井 雅人 (神田支店)  
書記 草島 正明 (神田支店)  
書記 義宏 (神田支店)  
書記 及川 彰 (神田支店)  
執行委員 半田 諭 (神田支店)  
新井 涉 (神田支店)  
南橋 武信 (神田支店)  
松崎 博之 (神田支店)  
江島 健二 (神田支店)  
井浦 利行 (神田支店)  
川崎 康吉 (神田支店)  
鎌村 秀明 (神田支店)  
佐藤 晃広 (神田支店)  
鈴木 賢 (神田支店)  
杉本 一郎 (神田支店)  
菅弘 (神田支店)



今年もよろしくお願いたします。  
平成二十一年 元旦

- 地本執行委員  
支部長 島野 古庄  
副支部長 川元 朝倉  
書記 佐藤 峯爪  
書記 須藤 須藤  
書記 石塚 武田  
書記 吉山 山田  
書記 青沼 吉沼

JP労組東京日通支部



今年おめでと

各支部においても名実ともにJP労組が  
これ運動がスタートしました。  
事業も職場も民営分社化による構造的・  
営的な課題が山積しています。  
れらを克服するために「3年ごとの総合的な見直し」  
に向けて、今後のJP運動を強化し、組合員の雇用を守り、  
労働条件を向上させ、「真に組合員の幸せ」を実現する  
ために、ともにがんばりましょう。

- 2009年元旦 JP労組東京貯金支部
- 支部長 阿部 泰男  
副支部長 出合 磨己  
書記 長 宇井 直美  
書記 真木 基行  
執行委員 福田 克明  
小野 塚清味  
石川 勝一  
松本 律子  
大野 博一  
福森 美穂  
岡本 忠義  
阿部 勝則  
高津 公平  
佐久間 剛  
田中 照泰

2009年 元旦



健康と多幸と  
お祈り申し上げます

日本郵政グループ労働組合  
東京銀座支部執行委員会

- 執行委員 耕治 一徹  
書記 長 小杉 山谷  
書記 長 池田 雅和  
書記 長 森岡 由雅  
書記 長 新田 照弘  
書記 長 大塚 勝子  
書記 長 早瀬 裕子  
書記 長 加藤 史作  
書記 長 鈴木 康彦  
書記 長 久野 康彦  
書記 長 阿部 康彦  
書記 長 関野 康彦  
書記 長 中松 康彦  
書記 長 松本 康彦  
書記 長 野村 康彦  
書記 長 山崎 康彦  
書記 長 田中 康彦  
書記 長 坂本 康彦  
書記 長 佐藤 康彦  
書記 長 高橋 康彦  
書記 長 岡田 康彦  
書記 長 阿部 康彦  
書記 長 高津 康彦  
書記 長 佐久間 康彦  
書記 長 田中 康彦

日 刊  
**ア**  
**新東京**

NO 89

2009年  
1月16日(金)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4353

# 雇用の維持・確保、労使で 共同宣言

経団連・連合、一五日採択

日本経団連と連合は一五日、2009年の春季労使交渉をめぐる首脳会議を開き、交渉が事実上始まった。

景気が急速に冷え込んで雇用が社会問題化しているなかで、雇用の維持・確保を目的とした労使共同宣言を採択した。

共同宣言は、労使双方が連携しながら雇用の安全網である雇用保険や雇用助成金の整備・拡充のほか、失業と同時に住まいを失った非正規労働者への緊急対策として雇用促進住宅の利用促進を訴えている。

賃金制度や働き方のあり方について協議する。

また政府を協議の場に引き出す必要性についても言及した。

ただ連合がベースアップ(ベア)を求めているのに対し、経団連は賃上げは「困難」として主張し平行線をたどっている。



一〇万人以上の派遣労働者の首切りが起きている中で遅いという感じがあるが、山積したなかでの幕開けとなった。

# 検討 労働条件・雇用を守って よりよい職場を作っていこう 2特分会・分会会議

日 刊

# JP 新東京

NO 90

2009年  
1月19日(月)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

1月16日に支部組合事務室にて2特分会は分会会議を開催しました。星名分会長から「入試繁忙のピークのなかさまさまな問題もあります。1月24日には拡大執行委員会もありますのでいろんな意見を出し合っていきたいしょう」とあいさつがあ

りました。

まず、配達記録郵便の廃止については新東京の書留取り扱いがすぐく増えると聞いている。機械・書留区分機を導入しようとしているが性能・仕様・設置方法がわからない。昨年実施した物調では現在の配達記録郵便の換算率とは大きく違う。簡易書留に移行させるも送達証は作らないの？  
：事実上の値上げでは？  
業務が大幅に変わっていくことが推察される。3月1日スタートなのに要員・作業方法・レイアウトなどの業務に

ついて説明がないこと、など意見が出されました。

入試繁忙については継越有証

郵袋の処理が作業限界を超えている。20台くらいのP(パレット)が並んでしまい頑張っても処理が追いつかない。有証郵袋の仮上げが通常時の3倍：バラまいた。数を合わせないで差し立てることはできないため休息が取れない。高品質なサービスとは言い難い。継越郵袋の基準はどうなのか。まだ集約しきれていないため組合員に実態の聞き取りをみんなで行っていかうと論議になりました。  
JPエクスプレスについて



は資料を検討しました。従業員2万人となつては断れないのか。4月1日から事業開始だがあまり姿がみえない。中央委員会の議案書には載るはずなので再度検討していくこととなりました。

「ありがとうキャンペーン」「短期雇用者の時給」などについて意見がだされました。あらゆる業種で吹き荒れている非正規社員のクビ切りについて資料を紹介。今こそ労働組合の真価が問われている。2009春闘は注目している。こうと一致しました。

2 特分会退職者送別会については分会役員が中心となつて頑張つていこうとなり閉会となりました。

あつという間に1月も終わってしまいそうないきおいだ。正月に羽子板やタコあげで遊んでいる子供も見なかったし、年々あまり正月らしく感じなくなった。

そんななか遊びに来たおいつ子と25年ぶりに『人生ゲーム』で楽しんだ。はじめは快調に職業は「医者」になり一番高い一戸建て住宅を購入…しかし自動車事故にあつてしまい、家も隣の人と交換になってしまった。買った株券も暴落して失業はしなかったけれども自宅は火事で全焼…。大変疲れました。

『人生ゲーム』ではなく仕事と住まいを失った派遣労働者らのニュースには驚かされることがたくさんある。日比谷公園での「年越し派遣村」のことは連日のようにメディアが取り上げている。「本当にまじめに働こうとしているのか」と疑った坂本哲志総務政務官の暴言…しかし、「坂本発言は正しい。派遣切りに便乗して行政に依存するなど甘えすぎではないか」という意見に一定の支持が集まっているということが新聞に載っていた。あなたはどのように考えましたか。

「今日から来なくて良い…」と解雇され、住んでいた寮も追い出され、労働組合もなく、相談する人もいない。

こんな時こそ行政が救済しなくていけないと思うがあまりうまく機能しているように思えない。「年越し派遣村」などの迅速な対応には頭が下がる。JP労組として何かできることはないのか…今こそ最大労組としての出番ではないか…。 『声』

日刊  
**ア新東京**

NO 91

2009年  
1月20日(火)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

**第3回中央委員会の  
議案書を読む**



**第1号議案  
2009春季生活闘争をはじめとする当面の取り組み(案)**

はじめに

①日本経済は、サブプライムローンに端を発した世界金融危機により株価の急落を招き、それによって景気後退に伴う新たな不良債権発生、懸念から銀行が貸し渋りを行い、企業が倒産するという悪循環に陥り閉塞感が漂っています。さらに、円

高の進行により輸出産業が打撃を受け、日本経済を牽引してきた外需が非常に厳しい状況となつています。

そのような景気低迷を反映して、業績低迷による非正規社員の雇い止めや賃金カット、早期退職の勧奨など、その矛先は労働者を直撃しています。一方、

私たち労働者の生活実態を見ると、平均年収は2007年度まで9年連続減少し、労働分配率においても6年連続減少するなど、非常に低い水準まで落ち込んでいます。加えて、消費者物価は原油価格の高騰の影響等により2008年初頭から上昇し続けており、昨今の状況から不透明感があるものの、物価上昇の影響は私たちの生活に大きく影響しています。

②日本郵政グループは、中間決算において4225億円の経常利益を計上したものの、不安定な日本経済の影響を受け、先行きは非常に不透明と言わざるを得ない状況にあります。

民営・分社化から約1年3ヶ月が経過し、今後の経営課題としてグループ全体の企業価値を

高めていくために、①収益力の強化、②内部管理体制の強化をあげており、株式上場をめざした民間企業として、上場企業にふさわしく、お客さまの信頼をさらに確かなものとしたいとしています。

しかし、一方で、適正な要員配置の問題やシステムの構築など、フロントラインが抱える課題は大きく、様々な改善に取り組んでいるものの、現場力を発揮できる体制になつたとはいえません。

③民営・分社化に対する「3年ごとの見直し」に向けた政治的動向は活発化しており、注視していかねければなりません。民主党、国民新党の両党が2007年10月23日参院に共同提出していた、「郵政事業の一

体経営を保つため、政府保有の日本郵政株、日本郵政が保有する郵便貯金銀行・郵便保険会社株の売却を当面凍結」を内容とする郵政民営見直し法案は、同年12月12日の参院本会議で、民主党などの賛成多数で可決されましたが、そのまま約1年間衆議院では審議がなされず、2008年12月11日に衆議院において採決が行われ、与党の反対により否決されました。

また、自民党内には議連（郵政研究会）が結成され「郵政民営化に関する緊急決議」が採択され、ユニバーサルサービスの確保や郵政3事業の一体的経営と株式上場を含めた連携強化など、民営化計画の根本的な見直しについて議論がなされています。さらに、「郵政事業に関する検討・検証プロジェクトチーム」

においても、民営・分社化の現状等について検討・検証がなされています。

④第3回中央委員会は、厳しい社会情勢、経済状況の中での開催となりますが、当面する課題として、①2009春季生活闘争方針、②職場実態を踏まえ、各社対応、③日通との宅配便事業統合への対応、④30万人組織建設に向けた取り組み、等について議案を提起し、組合員が共通認識を持って、JP労組として日本郵政グループの持続的発展と組合員の雇用と労働条件を守る運動を展開するとともに、郵政関係労働者の圧倒的な結集に向けた組織建設をめざすこととします。



## 春闘でベースアップの獲得を！

「不景気」だからダメなの？

連日のマスコミ報道では、世界的な金融危機の影響で景気が大きく後退し、自動車産業を中心に、大規模な減員が行われている事を伝えている。

トヨタは、〇八年三月時点で約8800人いた期間契約従業員を〇九年三月までに3000人まで削減する計画。いすゞ自動車は国内工場で働く派遣社員と期間従業員1400人を解雇することを明らかにしている。

かにしている。

その他の産業でも人員削減が行われようとしている。

その結果が日比谷派遣村の状況を作り出している。

元派遣社員の男性が、死後一ヶ月を経過して発見された。減員は『餓死』だとのこと。

日本国憲法二五条は「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という生存権が保証さ

れることになっていく訳だが

このような状況下で〇9春闘がスタートした。

経営側は「不景気で賃上げ原資がない」などと言っているが果たしてどうなのか？

『この間、不景気で賃金が上がらなかったが、一九九六年度とを比較すれば、役員賞与は一人あたり1519万5千円から1752万7千円へ15.24%も上昇している。一般従業員の給与は599万2千円から590万9千円と、1.45%のマイナスである（資本金10億円以上企業、法人企業調査）。不景気で賃上げできないと言いつつ、なぜ重役の給与を上げているのだらう？労働分配率は、96年度の50.1%から06年



度には43.4%に低下した。日経連が主張していた生産性基準原理からすればまったくおかしなことが起こっている。この10年間一人当たり付加価値は13.8%増加している。生産性基準原理を守ればあと15%近く賃上げする余地がある』（労働賃金問題研究家・孫田良平氏）

つまり、あるところにはある。ため込んでいるということだと思ふ。

この『不景気』に尻込みするのではなく、連合が主張する「内需拡大」を求める09春闘を戦うときではないのか。



## 不安と不満が いっぱい

ゆうパック職場では四月スタートのJPEキスプレス（日通との合併）について、あまりにも情報が少ないことに対する不満が燻っている。

『賃金、労働条件はどうなるのか』『俺たち全員が新会社に移行するのか』『出向という話も出ているが、事業会社に残って出向ということになるのか』『もし、出向ということになったとして、戻れる保証はあるのか』『新会社移行に伴う希望調査をとるのか』『JPEキスプレスに希望しない場合

は、他部への異動を希望できるのか』等々。

前回の中央委員会議案書には、新会社移行までのスケジュールや、大まかな仕事の流れ、要員等が明らかにされたが、その後、まったく情報が流れてこなくなった。

『役員が内緒にしているんじゃないのか』などと疑心暗鬼になる組合員の気持ちも理解できる。

本部も組合員のために精力的に交渉を展開していると思うのだが、下部に情報が流されないことに対して不満がつのる。

新会社発足まで約二ヶ月となった。

是非、本部役員が現場にきて組合員の不安を払拭する対話を求めたい。

日 刊

# 新東京

NO 93

2009年  
2月22日(木)

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

## 今年も我慢の冬か

冬が寒いのは当たり前だが、輸送の職場で働く私たちにとってはあまり有り難い季節ではない。暖冬であってほしいのが本音である。

この冬も暖冬を期待したが、年末から寒さが強くなり先週はこの冬一番の寒さとなった。

輸送の職場は夏は暑く冬は寒いのは宿命だと言えばそれまでだが、そこで働く者にとつてはつらい季節である。特に、深夜勤の朝方などは寝不足と長時間労働で疲れているところでの寒

さは体にこたえる。北風の強い日は体感温度はさらに下がりがつづける。貸与されている防寒ジャンパーだけでは寒さを防ぐことはできない。厚手のトレーナーを着込み、スラックスの下にはタイツをはき万全と思っても首から上は容赦なく吹き付ける寒風にさらされる。

これまでも防寒対策を求めてきたが、一向に改善されず、それどころか、要員削減により寒い中での作業は長くなる一方で

### ポストライフの

## 交通災害共済のお知らせ

ご契約の交通災害共済は、3月末で満期を迎えます。次期契約の内容を変更等される場合は配布されたお知らせの返信ハガキを切り取り1月26日(必着)までにポストライフサービスセンターまで返送してください。

なお、現在の内容で継続される場合は返信の必要はありません。

ある。  
今年もまた寒さを我慢しての作業を強いられそうだが、早急に抜本的な対策を講じてほしい

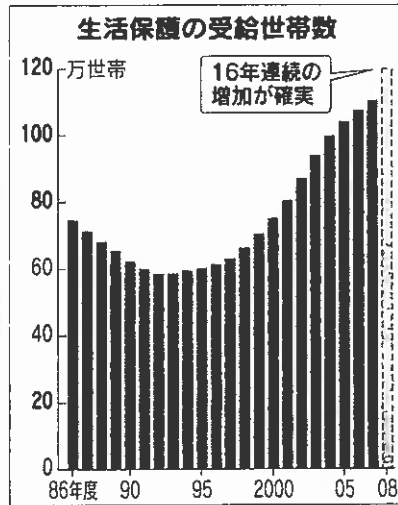
# 増え続ける

## 生活保護世帯

生活保護を受ける世帯が増え続けている。

昨年10月時点での受給世帯は114万7000世帯を超え、前年度の月平均に比べ4%ほど増えている。

生活保護の受給世帯数は05年から100万世帯を超え、今年度はさらにペースが加速して16年連続の増加となるのは確実である。しかも、おどろくことに「好景気」と言われた時期にも受給世帯は増え続けている。当時、好景気だと言われながらも「実感がない」というのが庶民の声であった。また、格差社会が社会問題として浮かび上がった時期でもある。このグラフ



はそのことを裏付けているといえる。そこに今年度は景気の悪化により、首を切られ、住居も奪われた非正規労働者が生活の立て直しのために受給を申請するケースが増えるという。構造改革のツケがここでも表れている。

そこまで切らなくても

局舎の北側の運河の淵には、松、桜、夾竹桃、サザンカなどの木が植えられているが、先日発着ホームから外を見てみると赤い花を咲かせていたサザンカの木が大きく切り取られ丸裸状態になっていた。

なぜ切ったのかわからない。おそらくトラックの通路にはみ出していたからだろう。それにしてもあそこまで切る必要はないだろう。せつかく花を咲かせていたのに、障害とならない枝は残し、せめて花が散る春先までは待つてほしかった。

発着ホームから見るサザンカと夾竹桃は季節を感じさせてくれる花、あれだけ切ってだいじょうぶだろうか今年の秋も咲いてほしいものだ。

日 刊  
**JP 新東京**

NO 94

2009年  
1月23日

日本郵政グループ  
労働組合  
新東京支部  
広報部

03-5606-6784  
内線 4353

# 第3回中央委員会の

## 議案書を読む



### 第1号議案

## 2009春季生活闘争をはじめとする当面の取り組み(案)

2009春季生活闘争の取り組み

### 1 経済社会の情勢

(1) サブプライムローン問題に端を発した米国の金融危機は世界に波及し、金融市場全体の信用収縮を引き起こしました。日本では、米国の金融危機の影響が限定的といわれているもの

の实体经济への影響が出はじめており、外需は減少、内需も原材料価格の高止まりや家計改善の遅れから減少しています。

(2) 企業業績も急激な収益悪化が生じています。「日銀短観」で見る企業の業況判断も悪化しており、9月中間決算によれば

多くの企業で減収減益となっています。また、倒産件数も増加しており、9月の倒産件数は前年同月比34%増の1408件、10月は1429件となっています。

(3) 消費者物価(前年同月比・総合)は、2008年2月に1%を超え8月9月は2.1%の上昇となっています。原油や資源価格などは下落傾向にあるものの、2008年度の消費者物価の先行きは、日銀によると1%台半ばと推定しています。

(4) 企業の経済活動の低迷から、全国的に雇用調整や採用内定取消しなどが発生するなど、雇用情勢は厳しさを増しています。労働力調査(総務省)11月分基本集計によると、完全失

業者数は前年同月比で10万人増加し256万人となり、完全失業率は3・9%と前月比0・2ポイント悪化しています。

(5) 2008年12月、厚生労働省が実施した非正規労働者の雇い止め等(派遣又は請負契約の期間満了、中途解除による雇用調整および有期契約の非正規労働者の期間満了、解雇による雇用調整)の全国調査によれば、2008年10月から2009年3月までに実施済み、または実施予定として把握できたものは、全国で1415件、約8万5千人となっています。

(6) 賃金(国税庁・民間給与の実態)は、1997年度から10年間のうち9年間で減少しており、その結果、2007年

度の水準は1997年度より6・4%も低下しています。また、労働分配率も6年連続で低下しており、第一次石油危機(1973〜74年)以降、最も低い水準になっています。

(7) 2007年度の総実労働時間は、前年比0・6%減の1808時間(規模30人以上では1850時間)となっていますが、就業形態別に見ると、一般労働者は前年と同水準の月170・6時間(年間ベース2047時間)となり、パートタイム労働者は1・8%減の月94・0時間(年間ベース1128時間)となっており、労働時間の格差も広がっています。

(8) 長時間労働の現状は改善されず、2007年の就業構造

基本統計調査によれば、正規社員で週60時間以上働く人の割合は、男女合わせ15・6%となつていきます。また、統計に表れない不払い残業も後を絶たず労働基準監督署に是正指導を受けた企業は、過去最多の1728件(前年度比49社増)となり、是正額も最多の272億4261万円(同45億円増)にのぼつていきます。

(9) 長時間労働の是正に向け、連合を中心に取り組んできた労働基準法の改正は、「月60時間を超える時間外労働の割増率を50%に引き上げること」や「年5日以内の時間単位での年次有給休暇制度の創設」が2010年4月1日より施行されることになりました。

日  
刊

# 新東京

No.96

2009年1月27日(火)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

## 支部ボーリング大会・報告

先日、1月25日(日)に支部レクの第1弾として、ボーリング大会を開催した。170名の申し込みを受け、盛大に行われた。

場所はお台場、パレットタウン内の東京レジャーランボールで行われ、初めてお台場に来たとか、いろいろな方がいましたが、駅に案内も立ち、予定通りに行われました。

下山支部長の始球式のあと、いよいよ熱戦が開始され、社員・ゆうメイト・ファミリーの組合員で各レーンは歓声の渦となりました。

勝負は個人戦・団体戦があり、1ゲームが終わる頃には、一喜一憂の顔があり、タイトルに手が届きそうな人は目が真剣でした。

ゲーム終了後は、表彰式をかねて乾杯です。色々話もありましたが、各テーブルでは成績の話で盛り上がり、いよいよ成績発表です。

個人部門は、強豪・1特がベスト10に5人も入る大躍進。当然、団体戦も余裕の優勝となりました。

個人戦 1位 小林(厚)さん・1特分会 346点

2位 小原さん ・1特分会 341点

3位 菊池さん ・1特分会 336点

団体戦 1位 1特分会 908点

2位 3特分会 906点

3位 郵窓分会 886点

詳しい成績等は壁新聞に掲載。大会関係者の方、大変お疲れ様でした。